

Network Security Forum 2019
IoT時代の「トラスト」は何か？
IoT プラットフォーム セキュリティ

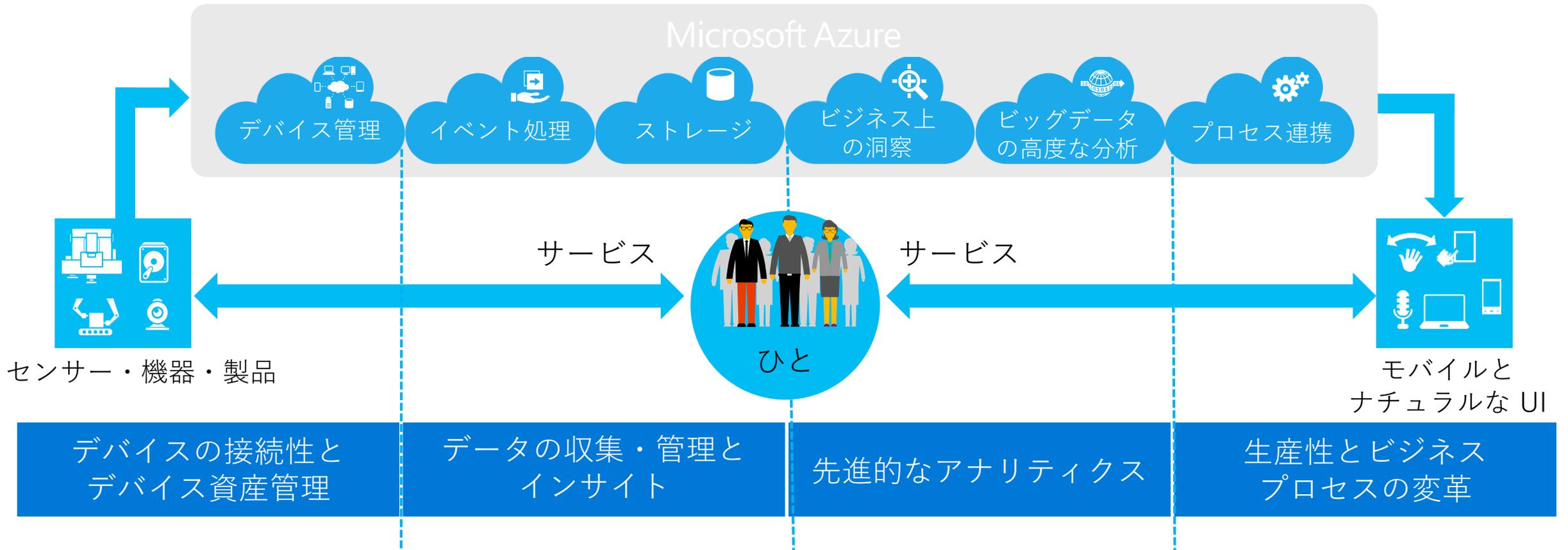
垣内 由梨香

セキュリティ プログラム マネージャ
セキュリティ レスポンス チーム, Asia-Pacific
Microsoft Corporation
CISSP



IoT 基盤

モノと人をデジタルにつなぎ、クラウドの力でスケーラブルなサービスとして素早く展開する



セキュアなデバイスに必要な 7 要素 : 7 Properties



Hardware Root of Trust



デバイスのIDとソフトウェアの完全性がハードウェアによってセキュリティ保護されているか？



Defense in Depth



セキュリティメカニズムが破られてもデバイスは保護されるか？



Small Trusted Computing Base



デバイスのTCBは他のコードのバグから保護されているか？



Dynamic Compartments



デバイスのセキュリティ保護をデプロイ後に改善できるか？



Certificate-Based Authentication



デバイスの認証にパスワードではなく、証明書を使用しているか？



Failure Reporting



デバイスは障害や異常を報告するか？



Renewable Security



デバイスのソフトウェアは自動的にアップデートされるか？



= シリコンのサポートが必要



= OSのサポートが必要



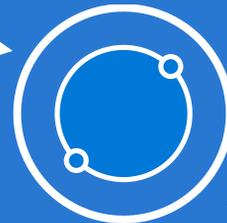
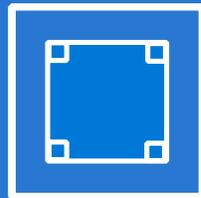
= クラウドサービスのサポートが必要

© Copyright Microsoft Corporation. All rights reserved.

Azure Sphere

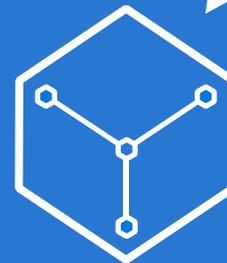
Azure Sphere Certified MCU

Microsoftのシリコンパートナーが製造するマイクロコントローラで、Microsoft Researchが提唱するハードウェアセキュリティ基準に準拠しているかどうかをMicrosoftが認定している



Azure Sphere OS

デバイスの10年間の耐用年数に渡ってMicrosoftがセキュリティ保護するLinuxベースの新しいOS. クラウドサービス経由で10年間のOSアップデートが保証される

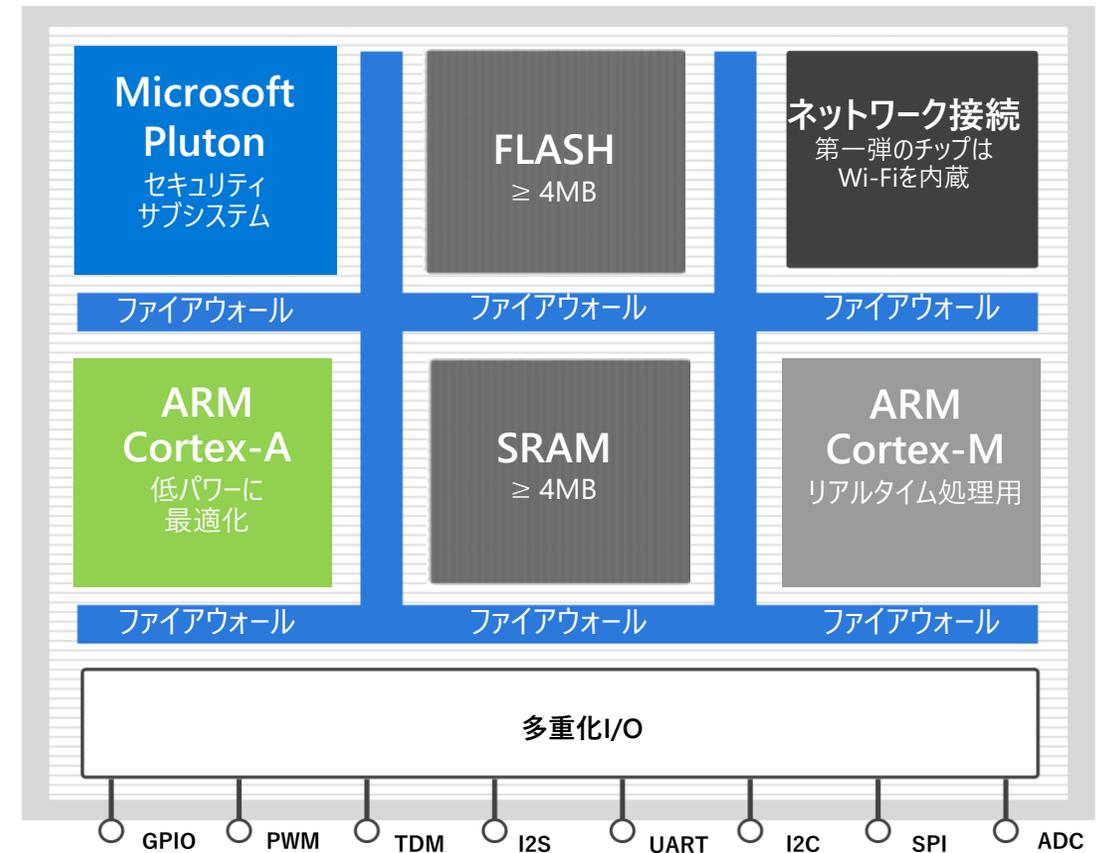


Azure Sphere Security Service

Azure Sphere OS のアップデートを行い、またOS上で稼働するPOSIXアプリのデプロイを行うことができる。もしハードウェアレベルでの脅威が発見された場合、動作を遠隔で止める

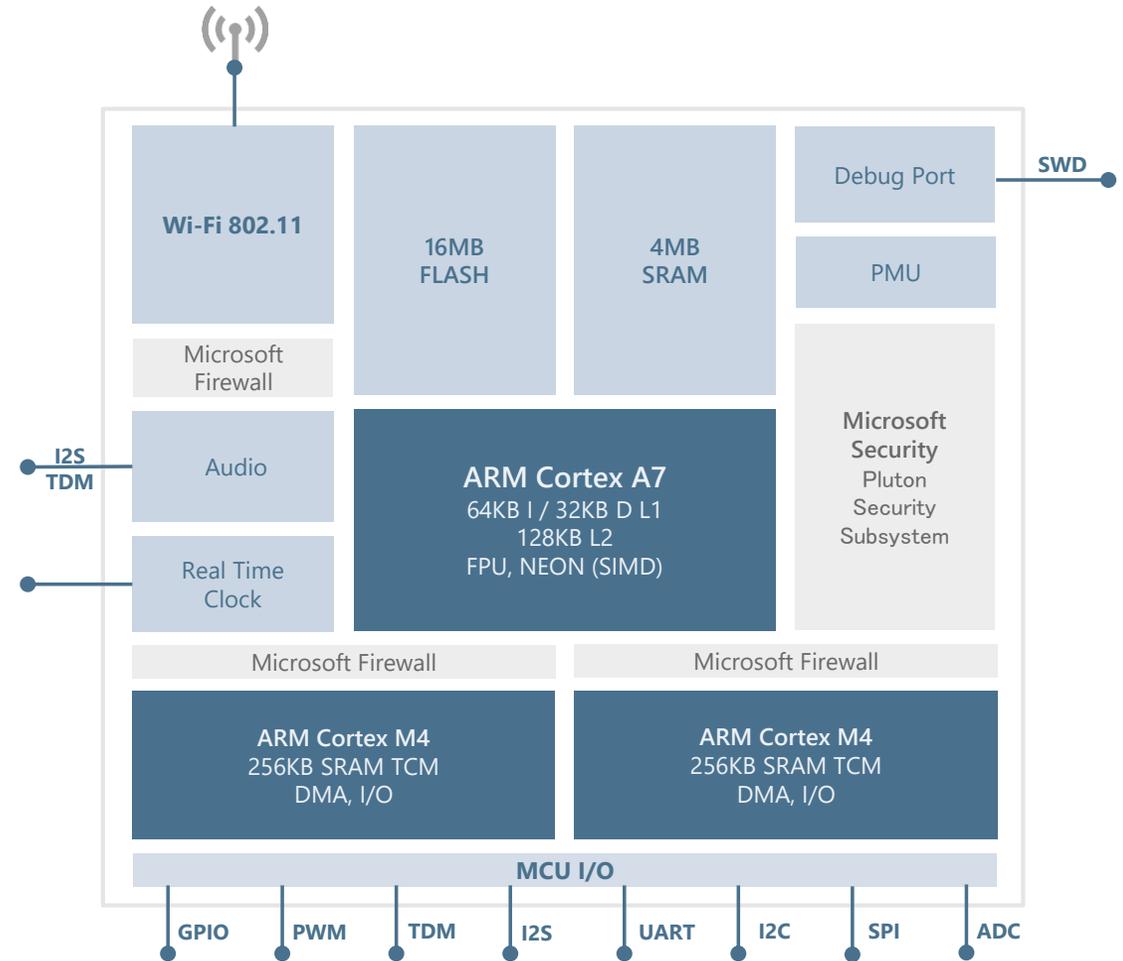
Azure Sphere MCU

- 組み込み済みのネットワークングによる**接続**
- Pluton Security Subsystemを含む組み込み済みMicrosoftシリコンセキュリティテクノロジーによる**セキュリティ保護**
- **クロスオーバー**Cortex-Aの処理能力を初めてMCUで実現



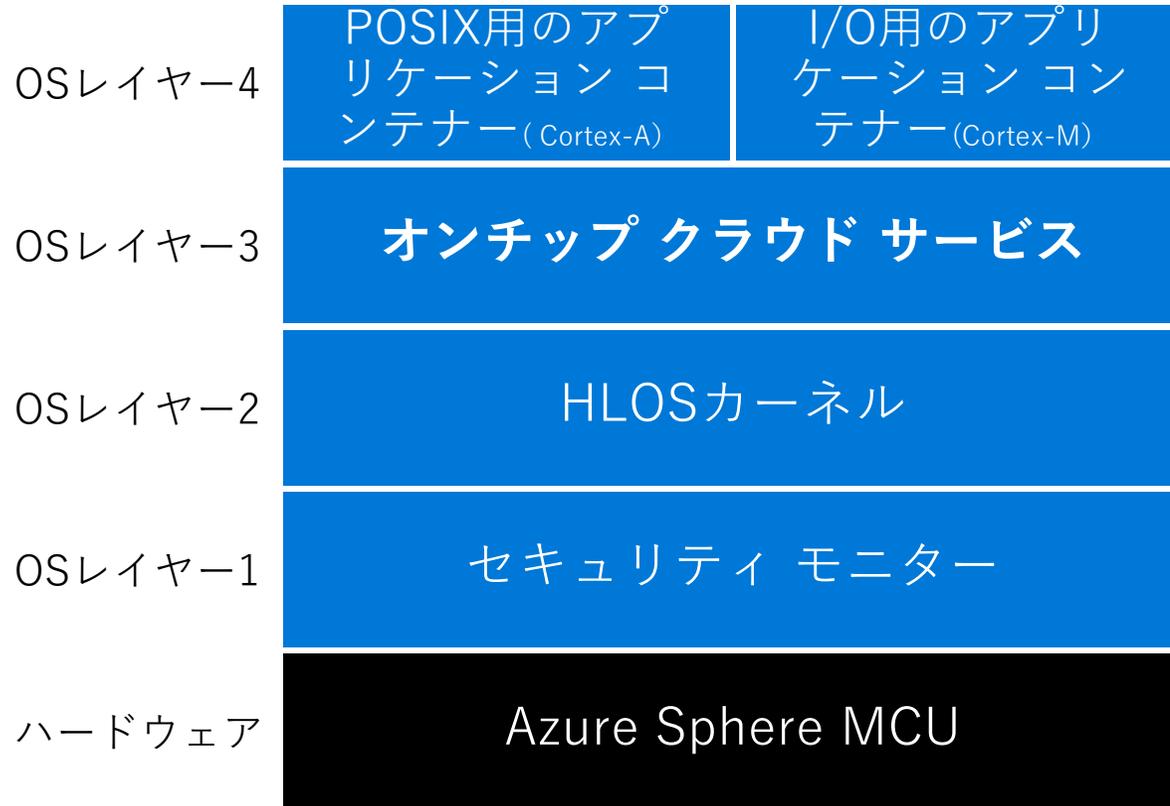
Azure Sphere MCU : MediaTek MT3620

CPUs	ARM Cortex A7 (500MHz) + 2 x Cortex M4 (192MHz)	
RAM	4MB	
Flash	16MB (8MB Runtime Firmware + 8MB Backup Firmware)	
Connectivity	WiFi 802.11 b/g/n, dual band: 2.4GHz, 5GHz	
Microsoft Security	Firewalls, Crypto Accelerator: AES-256, SHA-2, ECC, RSA2K, e-Fused private and public keys, attestation, ...	
I/O	GPIO	24, 4 configurable as PWM
	SPI	6 configurable
	I2C	
	UART	
	ADC	8 Channels, 12bit SAR, 2M sample/sec
I2S/TDM	I2S (2 interfaces) or TDM (4 channels)	
Package	DR-QFN 164	
Target Price		



Azure Sphere OS

Azure Sphere OSアーキテクチャ



安全なアプリケーション コンテナ

アジリティ、安定性、セキュリティを確保するためにコンパートメント化されたコード

オンチップクラウド サービス

アップデート、認証、接続性を提供

カスタムLinuxカーネル

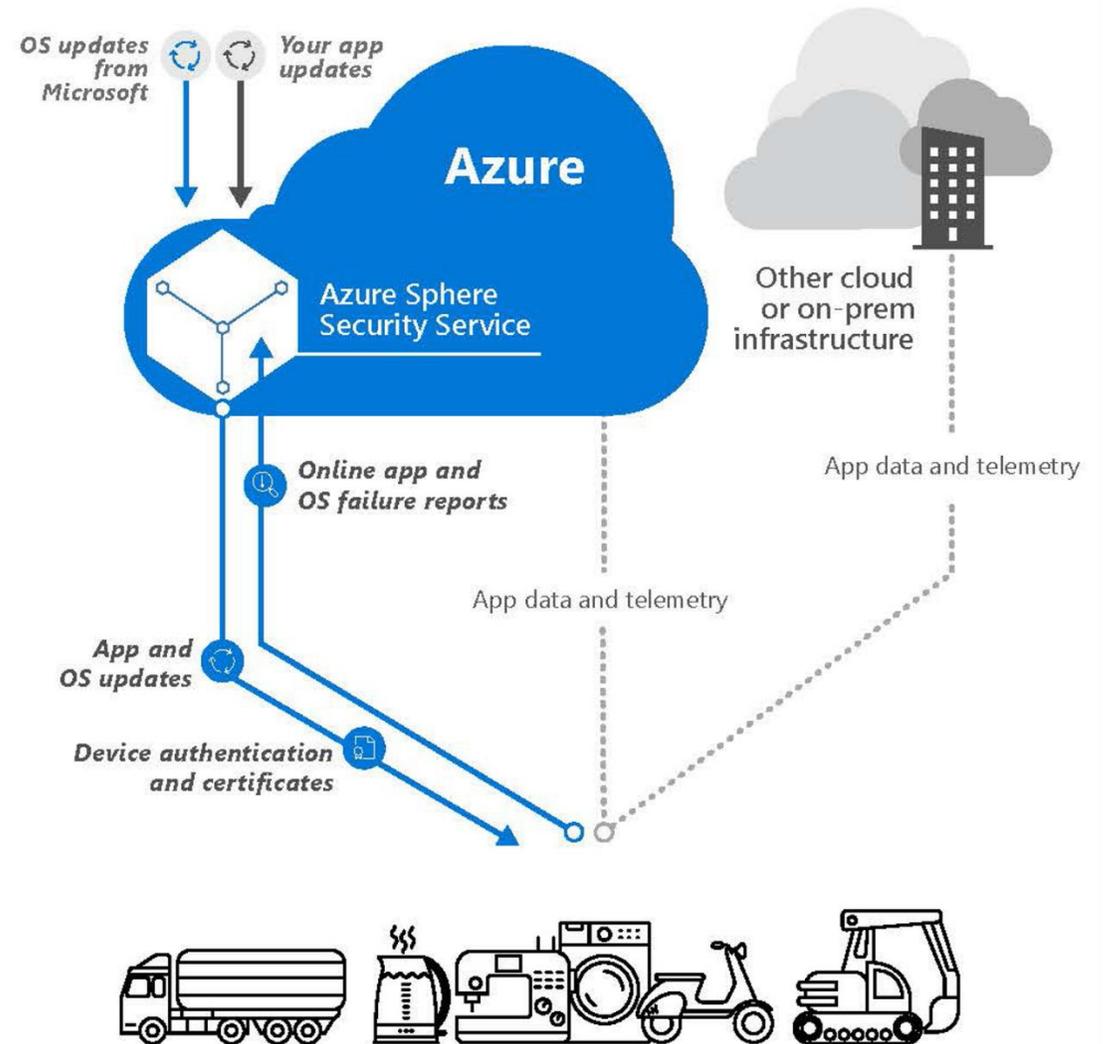
アジャイルなシリコンの進化とコードの再利用を実現

セキュリティ モニター

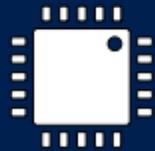
重要なリソースの完全性とアクセスを保護

Azure Sphere Security Service

- すべての通信の証明書ベースの認証でデバイスと顧客を**保護**
- オンデバイス障害の自動処理を通じて新しいセキュリティ脅威を**検知**
- OSの完全に自動化されたオンデバイスアップデートで脅威に**対応**
- Azure Sphere搭載デバイスへのソフトウェアアップデートのデプロイが可能



Let's secure the future.



SECURED FROM THE SILICON UP

